



EBAタイムス

10月 第16号

広島市立江波小学校 学校だより **98**

URL <http://www.eba-e.edu.city.hiroshima.jp/>

学校教育目標

自ら学び 自ら考え 豊かな心をもって
個性豊かに生活を創造する子どもの育成

「基礎・基本」定着状況調査結果

秋空高く爽やかな季節となりました。保護者の皆様には、いかがお過ごしでしょうか。平素から本校教育活動にご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、6月に実施された平成23年度広島県「基礎・基本」定着状況調査の結果についてお知らせいたします。学校ではこの結果を踏まえ、一層の学力の向上をめざして教育活動の改善を図っているところです。調査結果の概要をお知らせし、学校と家庭とが基礎学力の現状を共有することによって、基礎学力充実につながる環境づくりに共に努めていきたいと考えています。ご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。

【実施日】 6月14日(火) **【対象】** 全県の5年生 25,220名

- 【調査内容】**
- (1) 国語、算数における4年生までの学習内容の定着状況調査
 - (2) 生活に関する意識・実態についての児童質問紙調査
 - (3) 学習に関する意識・実態についての児童質問紙調査

1 国語と算数の調査結果(通過率=正答率+準正答率)

教科	国 語			算 数		
	本校	広島県	広島市	本校	広島県	広島市
通過率(%)	78.8	78.5	77.3	79.8	77.8	76.2

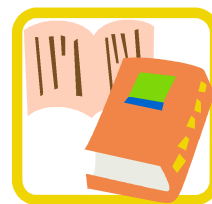
県平均と比較して国語は0.3ポイント・算数は2.0ポイント、市平均と比較して国語は1.5ポイント・算数は3.6ポイント上回る通過率という結果になりました。これは、県よりやや高く、市より高い数値といえることができます。このことから、本校の第5学年児童は、前学年までの国語、算数の学習内容を確実に身に付けることができていると考えています。

この結果は、本校のここ数年の基礎・基本の確実な定着と思考力・表現力の育成をめざした取り組みの成果が表れたものと推測されます。調査結果を踏まえ、今後も一層の学力の向上をめざして、次の方針の下に、日々の教育活動を進めていきたいと考えています。

- ◎ 基礎・基本の更なる定着をめざして、指導法の工夫改善を行い、一人一人に応じたきめ細かな指導を継続していく。
- ◎ 一人一人の考えが認められ、大切にされる授業づくりを進める。
- ◎ 思考力・表現力を高める学び合いのある授業づくりを進める。

② 国語の領域別通過率と取組みの方向性

	本 校	広島県	広島市
聞くこと	85.9	83.5	82.5
書くこと	84.7	87.9	86.5
読むこと	75.9	77.3	77.3
言語事項	76.3	74.5	72.6



【分析】

「聞くこと」「言語事項」については、県や市の通過率を上回っており、確実に力が付いていると考えています。「書くこと」「読むこと」については、おおむね定着しているものの、県や市の通過率をやや下回っているため、課題があると捉えています。

設問ごとにみると、「第4学年の漢字の読み」や「適切な接続語の選択」においては通過率が9割を超えて高く、十二分な力を付けていることが明らかとなりました。一方、「自分の考えが明確になるように、段落相互の関係に注意して」書く力や、「登場人物の性格や気持ちの変化について、叙述を基に想像して」読む力が不十分でした。また、「第3学年の漢字を書く」や、「国語辞典の引き方」にも、やや課題があることも明らかになりました。

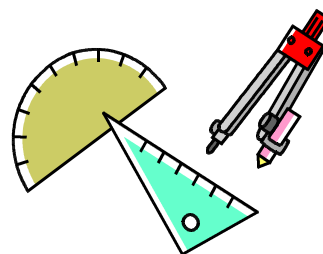
【取組みの方向性】

調査結果を踏まえ、国語では、次のような指導に取り組んでいきます。

- (1) 授業や家庭学習などにおいて、自分の考えを表現したり日記などに表す機会を引き続き充実させていく。
- (2) 授業や家庭学習などにおいて、漢字などを繰り返して練習したり復習したりする学習を積み重ねていく。

③ 算数の領域別通過率と取組みの方向性

	本 校	広島県	広島市
数と計算	81.0	81.7	80.7
量と測定	67.9	65.2	63.0
図 形	82.2	74.3	70.9
数量関係	87.3	86.0	85.4



【分析】

「数と計算」以外の3領域は、県や市を上回る通過率で、十分定着していると考えています。特に、図形領域は、高い通過率となっています。

設問ごとにみると、基礎的な四則計算や2観点で整理された表の意味を理解したり棒グラフの特徴を読み取ったりする力は、確実に定着しています。一方、分数の意味と表し方、四捨五入して概数で表す表し方などの問題に、やや課題があることも明らかになりました。

【取組みの方向性】

調査結果を踏まえ、算数では、引き続き次のような指導に取り組んでいきたいと考えています。

- (1) 問題解決型の学習過程を多く取り入れた、分かりやすい授業づくりに努めていく。
- (2) 自分の考えをペアやグループで交流し合う学習活動を多く取り入れていくようにする。
- (3) 課題となった領域を中心に、授業や家庭学習などにおいて、計算などを繰り返して練習したり復習したりする活動を一層、積み重ねていく。

4 生活・学習の意識調査の結果

生活・学習の意識調査では、児童に対して数多くの質問を実施しました。紙面の都合もあり、そのうちの一部の調査結果、並びに分析を紹介します。

<生活などに関する調査（数字は％）>

生活習慣		本校	広島県	広島市
外に出て遊んだり、運動をしたりして体を動かしています。	あてはまる	<u>90.4</u>	85.6	76.2
	あてはまらない	<u>9.6</u>	14.4	23.8
学校や社会のルールを守っています。	あてはまる	<u>88.0</u>	87.3	96.8
	あてはまらない	<u>12.0</u>	12.7	3.2

【分析】

- 昨年度の課題であった「外に出て遊んだり、運動したりして体を動かしています」の項目は、13.1ポイント上昇し、県及び市の平均値を大きく上回りました。学校で体育の授業の工夫改善に取り組んだり、休憩時間に縄跳びウィークやジョギング・ウィークを実施したりしたことが、成果につながっていると捉えられます。体を動かすことは、健やかな心と体を育成するために大切なことです。今後も、継続して様々な運動に取り組む予定です。
- 「学校や社会のルールを守っています」と回答した児童の割合は、88.0%となりました。この数値は、県と比較するとやや高くなっていますが、市と比較すると十分とはいえません。学校でも、規範性を育むための取り組みを道徳やあらゆる生活場面で指導しています。社会全体の規範意識の低さが懸念される中、今後も、引き続き取り組みを進めていくことが重要な課題です。

生活習慣・学習習慣		本校	広島県	広島市
ふだん（月～金）家では1日何時間くらい勉強をしていますか。（塾、家庭教師は除く）	1時間未満	<u>26.5</u>	14.6	57.0
	1時間～3時間	<u>73.5</u>	81.4	38.7
	3時間以上	<u>0.0</u>	4.0	4.3
1週間（土、日を含む）家庭で何時間くらい読書をしていますか。（漫画、雑誌を除く）	1時間未満	<u>59.1</u>	57.4	58.1
	1時間～3時間	<u>28.9</u>	31.5	30.6
	3時間以上	<u>12.0</u>	11.1	11.3
ふだん（月～金）1日何時間くらいテレビを見たりゲームをしたりしていますか。	1時間未満	<u>19.3</u>	20.3	20.3
	1時間～3時間	<u>56.6</u>	52.3	50.2
	3時間以上	<u>24.1</u>	27.4	29.5

【分析】

- 平日の家庭学習が1時間未満の割合は、県よりは多く、市よりは少なくなっています。1～3時間及び3時間以上の割合を高め、家庭学習の習慣が一層定着するように指導していく必要があると考えています。
- 1週間の家庭での読書の時間は、県や市と比較するとほぼ同じような割合を示しています。しかし、1時間未満の割合が約60%であることは、課題と捉えています。
- テレビを見たりゲームをしたりする時間が1日3時間以上の児童が約24%でした。昨年度より約10ポイント下がっています。今後もこの傾向が続くように指導していきたいと考えています。

学習への意識		本 校	広島県	広島市
学習を最後までやりとげてうれしかったことがあります。	あてはまる	88.0	90.2	98.4
	あてはまらない	12.0	9.8	1.6
「もっと力をつけたい」「分かるようになりたい」から勉強しています。	あてはまる	72.3	81.4	85.7
	あてはまらない	27.7	18.6	14.3
将来、仕事や生活のなかで役に立つと思うから勉強しています。	あてはまる	73.5	82.8	84.1
	あてはまらない	26.5	17.2	15.9

【分析】

- 「学習を最後までやりとげてうれしかったことがあります」と回答した児童は88%を超え、「もっと力をつけたい」「分かるようになりたい」という思いから学習に取り組んでいる児童も、72%以上という結果でした。このような子どもたちの達成感や向上心に応えることができるよう、学習指導をさらに充実させていきたいと思ひます。

自己効力感（自尊感情）		本 校	広島県	広島市
努力すれば自分もたいいのことはできると思ふ。	あてはまる	91.6	88.6	89.8
	あてはまらない	8.4	11.4	10.2
自分には、よいところがあります。	あてはまる	85.6	73.9	82.5
	あてはまらない	14.4	26.1	17.5
自分のよさは、まわりの人から認められていると思ひます。	あてはまる	67.5	58.0	73.0
	あてはまらない	32.5	42.0	27.0
将来の夢や目標は、かなうと思ひます。	あてはまる	74.7	79.6	81.0
	あてはまらない	25.3	20.4	19.0

【分析】

- 「努力すれば自分もたいいのことはできると思ふ」に「あてはまる」と回答した児童は91%を超え、「自分には、よいところがあります」には、85%以上の児童が、「あてはまる」と回答しています。このことから、多くの児童が自己効力感をもっていると推測されます。県や市と比較しても、やや高い傾向となっています。
- 「自分のよさは、まわりの人から認められていると思ひます」と3分の2の児童が回答しています。高い数値とはいえませんが、昨年度より18ポイント上昇しています。「将来の夢や目標は、かなうと思ひます」に「あてはまる」と回答した児童の割合は、県や市と比較してやや低くなっていることは、課題の一つであると捉えています。
- 児童が「自分はできる」「自分は認められている」「将来に向かって努力できる」という実感をもつことができるように、その都度、肯定的な評価を繰り返したり、友達の良さに目を向け認め合う場を設けたりする指導を継続していきたいと考えています。

本校では、11月に開催される算数科の公開研究大会を見据えて、ここ数年間、児童の自尊感情や思考力・表現力の育成をめざした授業づくりや学級経営に取り組んでいます。今後も、取組みを進めていきますので、引き続き保護者の皆様のご協力をよろしくお願い致します。